

# (仮称) 教育推進プラン・江東（第3期） 策定に係るこどもからの意見聴取 実施報告書



令和7年8月

# 目次

|                               |    |
|-------------------------------|----|
| こどもワークショップ「こども教育委員会」          | 1  |
| 1. 実施概要                       | 3  |
| 2. 意見のまとめ                     | 7  |
| (1) 学習                        |    |
| (2) 生活                        |    |
| (3) 環境                        |    |
| (4) 先生                        |    |
| 3. 各回の開催結果                    | 13 |
| ○ 資料編                         | 17 |
| 参加アンケート結果                     |    |
| ワークショップ開催チラシ                  |    |
| 江東教育七夕まつり                     | 27 |
| 1. 実施概要                       | 29 |
| 2. 意見のまとめ                     | 31 |
| (1) 特別支援学級（小学校）               |    |
| (2) 特別支援学級（中学校）               |    |
| (3) ブリッジスクール                  |    |
| (4) まとめ                       |    |
| 3. 各学校・教室の作品                  | 34 |
| 江東区こども議会                      | 45 |
| 1. 実施概要                       | 47 |
| 2. 各グループの提案                   | 49 |
| 第1グループ：これからの時代に必要な学習          |    |
| 第2グループ：色々な個性をもつ人とのふれあい        |    |
| 第3グループ：学校以外でも学習するために          |    |
| 第4グループ：相談しやすい環境               |    |
| 第5グループ：これからの学校に必要なもの          |    |
| 第6グループ：地域の方々と協力して、何ができると思いますか |    |

# こどもワークショップ 「こども教育委員会」





# 1. 実施概要

## (1) 目的

- ・ 学習・生活・環境・先生の4つのテーマで、よりよい学校生活を送るために大切なことを考える。
- ・ 自分の考えをグループで伝え合いながら、よりよい学校生活について提案する。

## (2) 対象

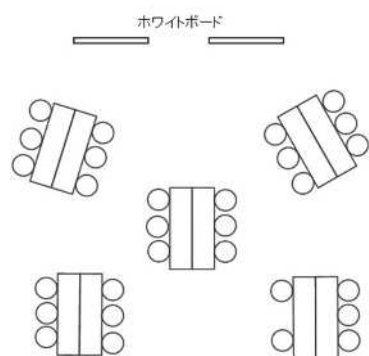
区内在住・在学の小学生（4～6年生）及び中学生

## (3) 開催実績

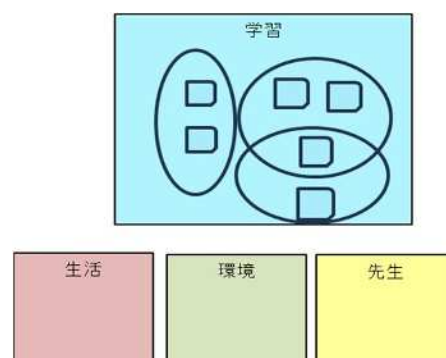
| 回数  | 日 時                | 場 所       | 参加者数         |
|-----|--------------------|-----------|--------------|
| 第1回 | 6月28日(土)9:30～11:30 | 江東区文化センター | 小学生17人、中学生6人 |
| 第2回 | 7月5日(土)9:30～11:30  | 豊洲文化センター  | 小学生27人、中学生0人 |

## (4) 実施方法

- ① 5つのグループ（5～6人）に分かれ、着席。
- ② 「学習」について、個人作業で、自分が「いいな！」と思う学習や方法のアイデアを付箋に書き出す。
- ③ 個人作業で付箋に書き出した意見を、全員に発表する。
- ④ 発表された内容を踏まえながら、「いいな！」と思うものや新たなアイデアをグループで相談しながら出し合い、似たような意見や同じ分野の意見が書かれた付箋をグルーピングしていく。
- ⑤ グループでまとめた意見を、代表者が全員に発表する。
- ⑥ 「生活」、「環境」、「先生」について、②と同様に作業する。
- ⑦ ④と同様に、グループで相談しながら新たな意見を出し合い、グルーピングする。
- ⑧ 3つのテーマの中から1つを選び、グループでまとめた意見を⑤と同様に発表する。



テーブルと参加者配置イメージ



模造紙イメージ



## (5) 当日の流れ

|   | 項 目                          | 内 容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|---|------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | 開会                           | 開会のあいさつ                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 2 | ワークショップ説明                    | ・コーディネーター自己紹介<br>・ワークショップのねらいの説明                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 3 | 教育長講話                        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 4 | 自己紹介                         | グループ内で自己紹介を行う。                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 5 | ワークショップ1部<br>テーマ「学習」         | <p>【個人作業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「いいな！」と思う学習や方法のアイデアを付箋に書き出す。</li> </ul> <p>【全体】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・付箋に書いたものを発表。</li> </ul> <p>【グループ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発表された内容で、「いいな！」と思うものや新たなアイデアを出し合い、付箋をグループピングする。</li> <li>・代表者がグループでまとめた意見を発表。</li> </ul> |
| 6 | ワークショップ2部<br>テーマ「生活」「環境」「先生」 | 1部と同様にワークを実施。                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 7 | コーディネーター総括                   | 各グループから出た意見についてコーディネーターが総括。                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 8 | 教育長講話                        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 9 | 閉会                           | ・写真撮影<br>・アンケート                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |

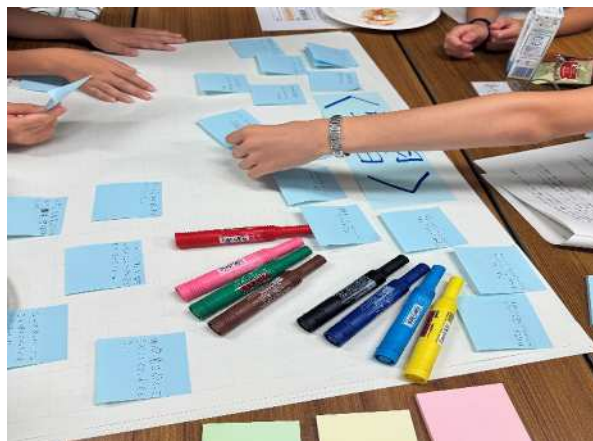


## (6) ワークショップの様子

### ①付せんに意見を記入する



### ②発表しながら付せンを模造紙に貼り付ける



### ③似ている意見の付せんを整理する



### ④付せンをグルーピングする



### ⑤テーマを選び、発表する



どのグループも立ち上がって、  
参加者同士で協力し合い  
ながら意見をグルーピング  
していました



## 2. 意見のまとめ

## 意見の分析

- 一人一台端末を活用して、授業や学習方法の改善、ネットワークを活用した校外との交流などがあげられています。
- こども同士が協力して学習できる方法、環境の整備が求められています。
- 校外学習や実際に体験して学べる学習をしたいとの希望が多くあげられています。
- 自主的な学習や、個の状況に応じた学習が求められています。
- 主要教科以外にも、心の授業や情報モラル教育、多文化についての理解促進の学習が求められています。

### 授業

- ・ 理科の実験を増やしてほしい
- ・ 体を動かす勉強
- ・ 情報モラルの勉強
- ・ 家庭科や図工のような実技
- ・ 考える授業(算数など)を増やす
- ・ 外国人の先生と英語でゲーム
- ・ クイズ形式で遊びながら学習

### ICT

- ・ タブレット(chromebook)で勉強したい
- ・ chromebookで他の学校と交流したい
- ・ 授業を電子黒板でしてほしい
- ・ 動画授業
- ・ チームに分かれてchromebookで発表
- ・ ミライシードで空き時間でも学習
- ・ テストを紙に戻してほしい

### 体験

- ・ 社会科見学を増やし、自由行動
- ・ 日本の文化や礼儀作法について勉強(茶道や参拝作法など)
- ・ 交通安全教室などの出前授業
- ・ 伝統工芸の体験
- ・ 外国のことをもっと学びたい
- ・ 俳句の授業でいい作品を句会に出す

### 主体的

- ・ チャレンジウェンズデーのような自分でテーマを決め、自分で行う学習
- ・ 自分たちで調べてプレゼンする
- ・ クラブの時間を増やしてほしい
- ・ 自分で自由に課題を選んで進められる
- ・ 林間学校の場所を自分たちで決めたい
- ・ 生徒からの意見を学校が年に一回は取り入れてほしい

### 個に応じた学習

- ・ 少人数などのレベルごとに違う学習
- ・ 空いてる時間に図書室で学習できるようにしてほしい
- ・ 自分のペースで学習したい
- ・ 学力ごとにクラスを分ける
- ・ 算数でスライドを使って自分で式を作る学習

### 協働

- ・ クラスの人と協力して行う調べ学習
- ・ 学年全員で遊ぶ授業
- ・ アドバイスをしあう
- ・ 他学年に学んで感じたことや分かったことを発表
- ・ 小学1年生から中学3年生までに一緒にアクティビティをする

### 意見の分析

- こどもから楽しく学校生活を過ごせる環境が求められており、こどもが主体となって活動に参加できる環境の整備を検討する必要があります。
- こどもが気軽に相談できる体制や環境の整備、手段の周知が必要です。
- こどもの悩みに、教員や周囲の大人が気づけるようにすることが重要です。
- 給食への要望が多く、食育を踏まえながら取組を検討する必要があります。

### 休み時間

- ・ 休み時間をもっと長くしてほしい
- ・ 休み時間の遊びを充実させて欲しい
- ・ 体育館で遊べるようにしてほしい
- ・ 教室で遊べるものが少ない（中遊び）
- ・ たまに校舎ではないところで過ごしたい

### いじめ

- ・ いじめをなくすことが重要
- ・ 相談できる人を呼んでほしい
- ・ いじめアンケートの回数を増やしてほしい
- ・ 体罰はあってはならないこと

### 行事

- ・ 行事を増やしてほしい
- ・ 運動会などの行事を秋にしてほしい
- ・ ○○大会（ゲーム作成、クラス対抗で給食を残さないか）をつくってほしい
- ・ 合奏コンクールがやりたい
- ・ 行事にちなんだ学習がしたい
- ・ 校外で活動する機会を増やしてほしい

### 給食

- ・ 給食時間をのばしてほしい
- ・ 他クラスと給食を食べる時間が欲しい
- ・ お弁当の日を作りたい
- ・ 給食に生の食材を出してほしい
- ・ おやつを増やしてほしい
- ・ スイーツではなくフルーツにほしい
- ・ 給食を選択できるようにしてほしい

### 授業時間外

- ・ 9時登校にほしい
- ・ 登校班になって登校する（友達と話しながら帰りたい）
- ・ あいさつ運動をする
- ・ 日直をなくしたい
- ・ 全校朝会をなくしてクラスルームに必要なことを投稿してほしい

### その他

- ・ 授業中に水を飲めるようにしてほしい
- ・ 授業の終わりの時間を同じにほしい
- ・ 低学年のために、タブレットの入力をひらがなにほしい
- ・ 机をもっと大きくしてほしい（パソコンを置くと狭い）

## テーマ3 環境

### 意見の分析

- トイレや空調設備などの生活環境の改善が求められています。
- 学校プールの環境改善が求められています。
- 性別や障害に配慮したユニバーサルデザインを検討する必要があります。
- ICT環境の整備による学校のデジタル化が必要です。
- 校舎や校庭で快適に学習や活動できる設備や環境が求められています。

### トイレ

- ・ 冬になると便座が冷たい
- ・ 古い校舎のトイレをリニューアルしてほしい
- ・ トイレの数を増やしてほしい
- ・ 主事さんがそうじをしてくれてきれい

### プール

- ・ 室内プールにしてほしい
- ・ シャワーを温水にしてほしい
- ・ 虫が浮いていて汚い
- ・ 屋根付きのプールにしてほしい
- ・ 男女別で水泳の授業をして欲しい
- ・ 水泳の授業を増やしてほしい

### 校舎

- ・ 冷暖房の調整（教室が寒すぎ・暑すぎ）
- ・ エアコンのききが悪い
- ・ 男子更衣室の設置
- ・ 全部の校舎にエレベーターをつけてほしい
- ・ デジタル化をすすめてほしい
- ・ 時間割をパソコンにのせてほしい
- ・ 図書館の本を増やしてほしい
- ・ 体育館を増やす
- ・ 休日や休み時間の体育館の開放
- ・ 校舎の修築を行ってほしい
- ・ 家庭科室の設備をきれいにしてほしい

### 校庭

- ・ 校庭に日陰をつくってほしい
- ・ 校庭で遊ぶ時ずすくしたい
- ・ 砂を増やしてほしい(転ぶと痛い)
- ・ 遊具（シーソー、ブランコなど）の設置
- ・ 校庭の水はけがわるい
- ・ きれいなエコスペースをつくってほしい
- ・ 花や木が多くてうれしい



## テーマ4 先生

### 意見の分析

- 専門的な知識やわかりやすい授業ができる教員が求められています。
- こども（自分たち）のことを理解してくれる先生が求められています。
- 教員がこどもと向き合える時間を確保するため、教員を支援する取組が必要です。
- 不公平感や不条理な感情を覚えているこどもがあり、教員の資質・能力の向上を進める取組が必要です。

### 人柄

- ・ 感情的にならず、丁寧に話を聞ってくれる
- ・ こどもの気持ちを理解し、それを行動に反映してくれる
- ・ いじめを見過ごさず、行動に移してくれる
- ・ トラブルがあった時に、すぐに相談にのってくれる
- ・ しっかり悪いことは悪いと言ってくれる
- ・ 差別（臆負）をしない
- ・ メリハリがある
- ・ 一緒に遊んでくれる
- ・ ノリがよくて面白い
- ・ プライベートも話せる
- ・ 怒るより、褒めてくれる

### 困っていること

- ・ 気持ちに寄り添ってくれない
- ・ 気にいった子ばかりを優先しないでほしい
- ・ 同じことで怒られる子と怒られない子がいる
- ・ 言葉や態度がきつい先生がいる
- ・ 雑談が少なくてうるさい先生がいる
- ・ カウンセラーに相談に行ったら先生に怒られてしまった
- ・ けがをしているのにエレベーターを使ってはいけないと言われた
- ・ テストの採点を厳しくしてほしい

### 授業

- ・ 国語・算数も専科の先生がいてほしい
- ・ 体育・道徳の先生がほしい
- ・ 特定の授業に特化した先生
- ・ デジタルを使える先生
- ・ 体験学習をしてほしい
- ・ ハンドサインをどの先生も使えるようにしてほしい
- ・ 先生に質問する機会が欲しい
- ・ ゲームなどを使った楽しい授業
- ・ 生徒を中心に考えた授業
- ・ まだ発言していない人をさしてほしい
- ・ 時間にゆとりある行動や授業をしてほしい

### 要望

- ・ 自分に合った学びができるようなクラス分け
- ・ 宿題を週間制にしてほしい
- ・ 担任を選べるようにしてほしい
- ・ 先生に関するアンケートを区が全校にしてほしい
- ・ 保健室の先生の人手が足りない
- ・ スクールカウンセラーを増やしてほしい
- ・ もっと生徒のことを見てほしい
- ・ こどもの意見を聞いてほしい
- ・ 楽しいことを増やしてほしい





### 3. 各回の開催結果

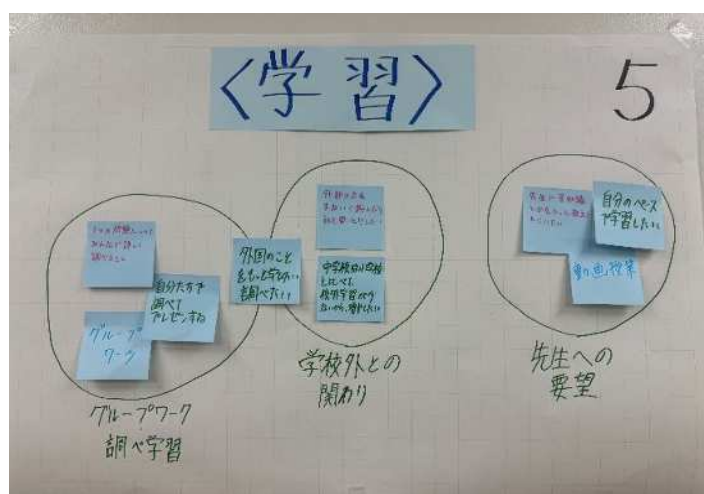
## (1) 第1回 江東区文化センター

【開催日時】令和7年6月28日(土) 9:30~11:30

【参加者数】小学生20人、中学生3人

### ◇ ワークショップ作品例

#### ① 学 習



#### ② 生 活



#### ③ 環 境



#### ④ 先 生



## ◆ 実施風景





## (2) 第2回 豊洲文化センター

【開催日時】令和7年7月5日(土) 9:30~11:30

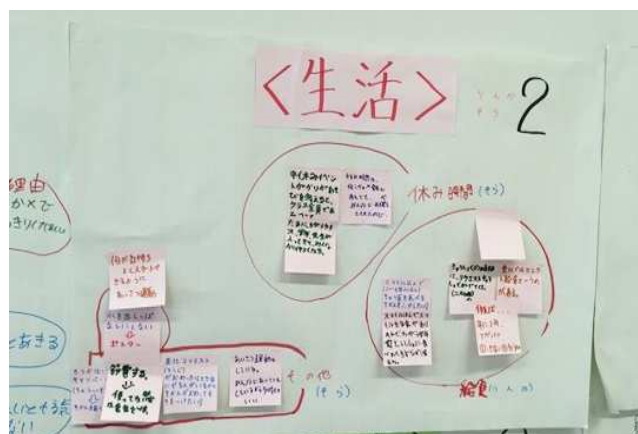
【参加者数】小学生27人、中学生0人

### ◇ ワークショップ作品例

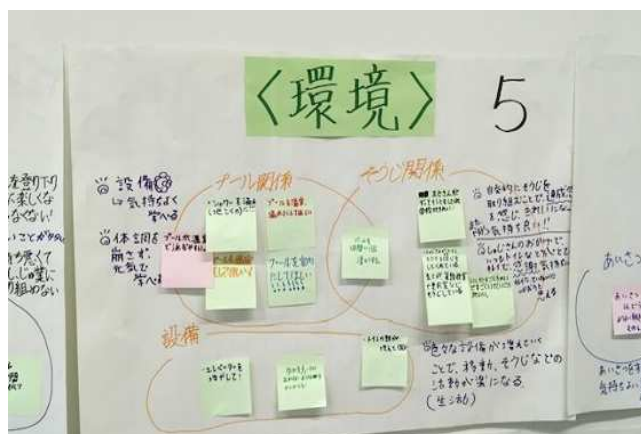
#### ① 学習



#### ② 生活



#### ③ 環境



#### ④ 先生



## ◆ 実施風景







## 資料編

## こども教育委員会 第1回参加アンケート

### 調査概要

調査名：こども教育委員会 参加アンケート

調査方法：参加者にアンケート用紙を配布し、その場で記入・回収

対象者：こども教育委員会参加者

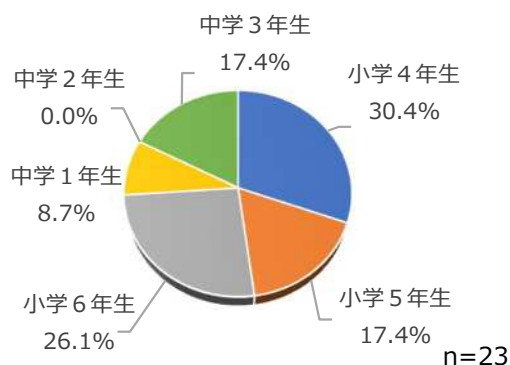
実施日：令和7年6月28日（土）

対象数：23人

回答数：23人（回収率100.0%）

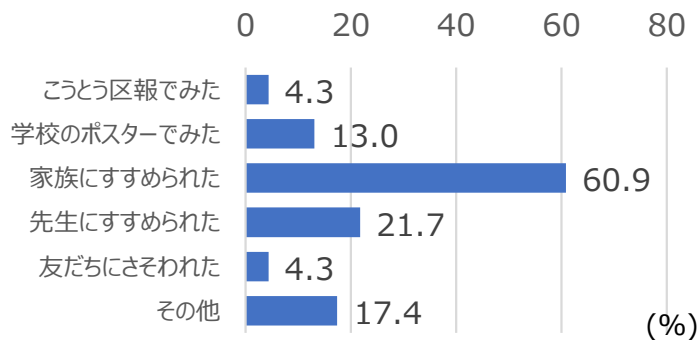
### Q1. あなたの学年はどれですか（ひとつだけに○）

|       | N  | %     |
|-------|----|-------|
| 小学4年生 | 7  | 30.4  |
| 小学5年生 | 4  | 17.4  |
| 小学6年生 | 6  | 26.1  |
| 中学1年生 | 2  | 8.7   |
| 中学2年生 | 0  | 0.0   |
| 中学3年生 | 4  | 17.4  |
| サンプル数 | 23 | 100.0 |



### Q2. こども教育委員会に参加しようと思ったきっかけを教えてください（いくつでも）

|            | N  | %     |
|------------|----|-------|
| こうとう区報でみた  | 1  | 4.3   |
| 学校のポスターでみた | 3  | 13.0  |
| 家族にすすめられた  | 14 | 60.9  |
| 先生にすすめられた  | 5  | 21.7  |
| 友だちにさそわれた  | 1  | 4.3   |
| その他        | 4  | 17.4  |
| サンプル数      | 23 | 100.0 |



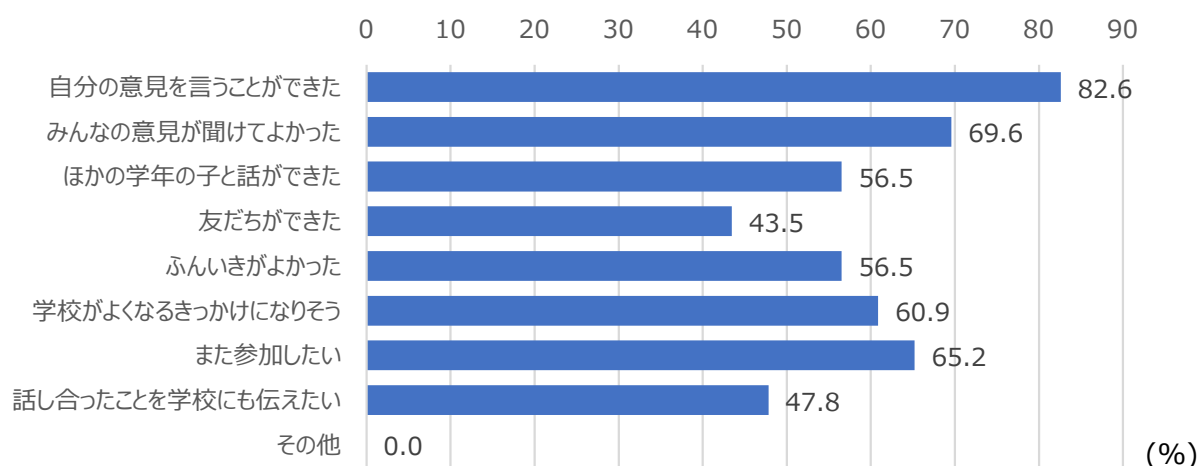
### Q3. こども教育委員会に参加してみてどうでしたか？（ひとつだけ）

|         | N  | %     |
|---------|----|-------|
| とても満足   | 20 | 87.0  |
| 満足      | 3  | 13.0  |
| どちらでもない | 0  | 0.0   |
| 不満      | 0  | 0.0   |
| とても不満   | 0  | 0.0   |
| サンプル数   | 23 | 100.0 |



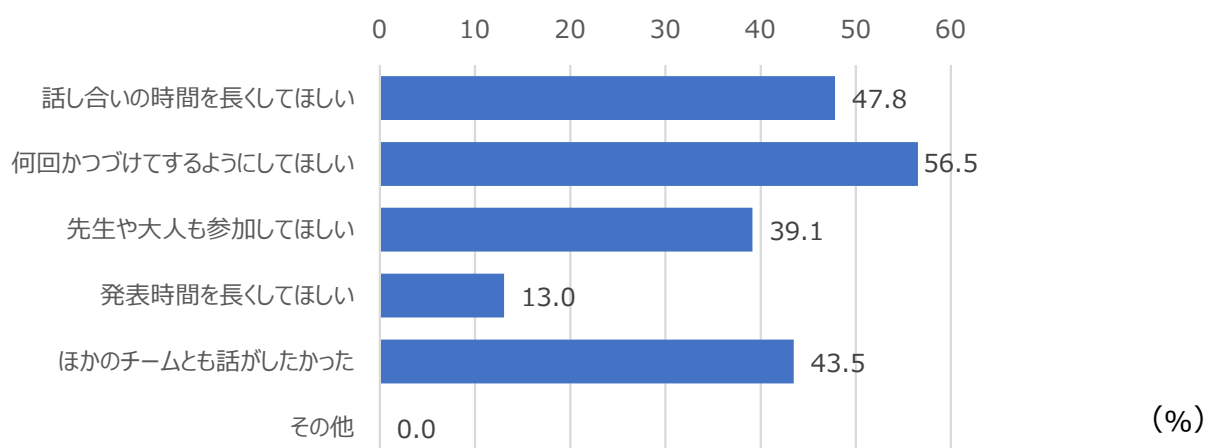
#### Q4. こども教育委員会に参加して感じたことは何ですか？（いくつでも）

|                  | N  | %     |
|------------------|----|-------|
| 自分の意見を言うことができた   | 19 | 82.6  |
| みんなの意見が聞けてよかった   | 16 | 69.6  |
| ほかの学年の子と話げできた    | 13 | 56.5  |
| 友だちができた          | 10 | 43.5  |
| ふんいきがよかった        | 13 | 56.5  |
| 学校がよくなるきっかけになりそう | 14 | 60.9  |
| また参加したい          | 15 | 65.2  |
| 話し合ったことを学校にも伝えたい | 11 | 47.8  |
| その他              | 0  | 0.0   |
| サンプル数            | 23 | 100.0 |



#### Q5. こども教育委員会が「こうなったらもっとよくなるかも」と思ったことはありませんか（いくつでも）

|                   | N  | %     |
|-------------------|----|-------|
| 話し合いの時間を長くしてほしい   | 11 | 47.8  |
| 何回かつづけてするようにしてほしい | 13 | 56.5  |
| 先生や大人も参加してほしい     | 9  | 39.1  |
| 発表時間を長くしてほしい      | 3  | 13.0  |
| ほかのチームとも話がしたかった   | 10 | 43.5  |
| その他               | 0  | 0.0   |
| サンプル数             | 23 | 100.0 |



Q 6. 気がついたこと、気になったことがあれば、なんでもかいてください

| 意見                                      | 学年      |
|-----------------------------------------|---------|
| 私たち子供の意見でも学校は動かせるとわかった                  | 小学 6 年生 |
| 先生のことがよくわかった                            | 小学 6 年生 |
| とても楽しかったです。ありがとうございました。                 | 小学 6 年生 |
| いいたいことがいえてよかった。                         | 小学 5 年生 |
| 他の人と交流し、意見を言えてよかったと思う。                  | 中学 1 年生 |
| もう少しわしくジャンル分け                           | 中学 1 年生 |
| 言いたいことがいえてよかった。                         | 小学 4 年生 |
| こうゆうきかいは、あまりなかったからこのイベントにさんかしてよかった      | 小学 5 年生 |
| 教育長さんの、学校をよくする考えを聞きたい。教育委員会の、教育方針をしりたい。 | 小学 6 年生 |
| すごうれしかった。学校の役に立てると思います。                 | 小学 4 年生 |
| おとな教育委員会は何の話をしているのか気になりました              | 中学 3 年生 |



## こども教育委員会 第2回参加アンケート

### 調査概要

調査名：こども教育委員会 参加アンケート

調査方法：参加者にアンケート用紙を配布し、その場で記入・回収

対象者：こども教育委員会参加者

実施日：令和7年7月5日（土）

対象数：27人

回答数：27人（回収率100.0%）

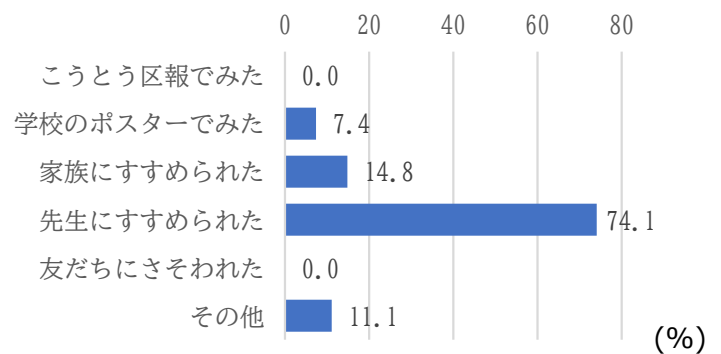
### Q1. あなたの学年はどれですか（ひとつだけに○）

|       | N  | %     |
|-------|----|-------|
| 小学4年生 | 2  | 7.4   |
| 小学5年生 | 9  | 33.3  |
| 小学6年生 | 16 | 59.3  |
| 中学1年生 | 0  | 0.0   |
| 中学2年生 | 0  | 0.0   |
| 中学3年生 | 0  | 0.0   |
| サンプル数 | 27 | 100.0 |



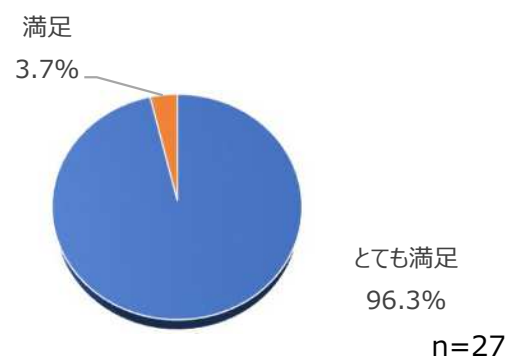
### Q2. こども教育委員会に参加しようと思ったきっかけを教えてください（いくつでも）

|            | N  | %     |
|------------|----|-------|
| こうとう区報でみた  | 0  | 0.0   |
| 学校のポスターでみた | 2  | 7.4   |
| 家族にすすめられた  | 4  | 14.8  |
| 先生にすすめられた  | 20 | 74.1  |
| 友だちにさそわれた  | 0  | 0.0   |
| その他        | 3  | 11.1  |
| サンプル数      | 27 | 100.0 |



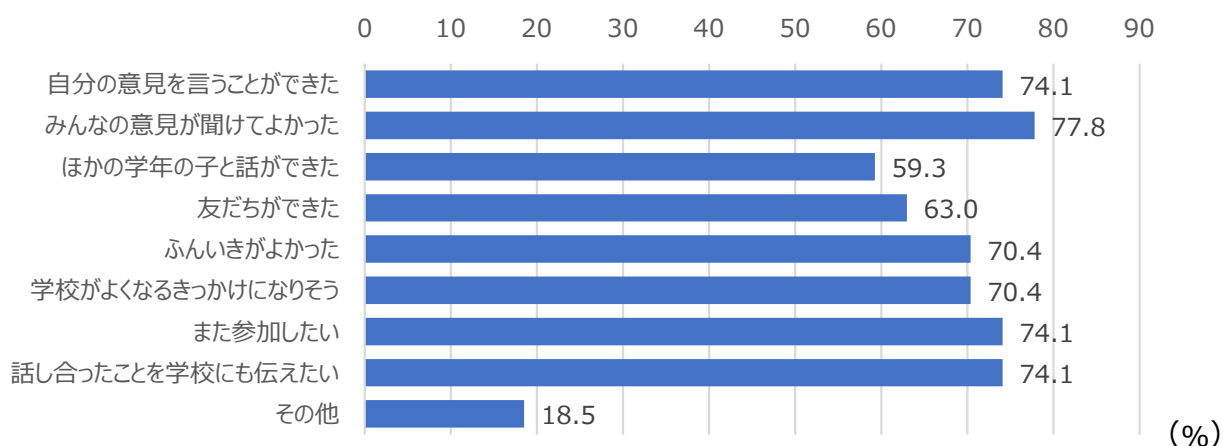
### Q3. こども教育委員会に参加してみてどうでしたか？（ひとつだけ）

|         | N  | %     |
|---------|----|-------|
| とても満足   | 26 | 96.3  |
| 満足      | 1  | 3.7   |
| どちらでもない | 0  | 0.0   |
| 不満      | 0  | 0.0   |
| とても不満   | 0  | 0.0   |
| サンプル数   | 27 | 100.0 |



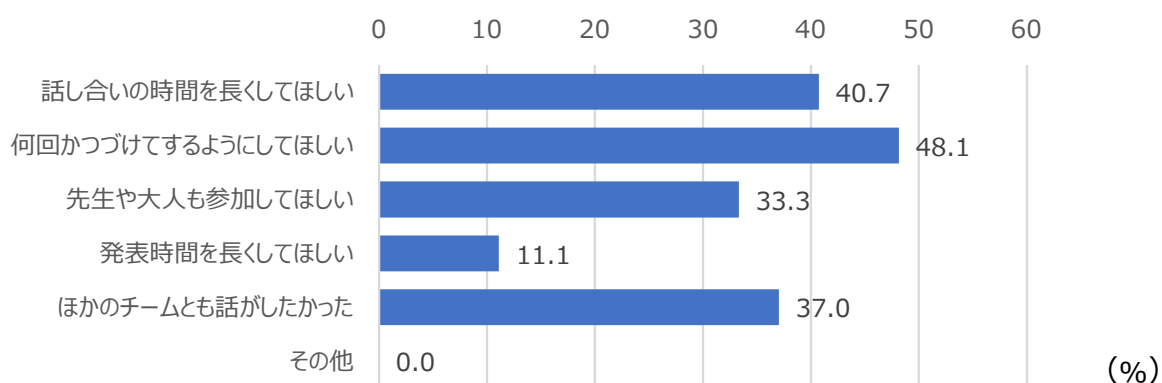
#### Q4. こども教育委員会に参加して感じたことは何ですか？（いくつでも）

|                  | N  | %     |
|------------------|----|-------|
| 自分の意見を言うことができた   | 20 | 74.1  |
| みんなの意見が聞けてよかった   | 21 | 77.8  |
| ほかの学年の子と話ができた    | 16 | 59.3  |
| 友だちができた          | 17 | 63.0  |
| ふんいきがよかった        | 19 | 70.4  |
| 学校がよくなるきっかけになりそう | 19 | 70.4  |
| また参加したい          | 20 | 74.1  |
| 話し合ったことを学校にも伝えたい | 20 | 74.1  |
| その他              | 5  | 18.5  |
| サンプル数            | 27 | 100.0 |



#### Q5. こども教育委員会が「こうなったらもっとよくなるかも」と思ったことはありませんか（いくつでも）

|                   | N  | %     |
|-------------------|----|-------|
| 話し合いの時間を長くしてほしい   | 11 | 40.7  |
| 何回かつづけてするようにしてほしい | 13 | 48.1  |
| 先生や大人も参加してほしい     | 9  | 33.3  |
| 発表時間を長くしてほしい      | 3  | 11.1  |
| ほかのチームとも話がしたかった   | 10 | 37.0  |
| その他               | 0  | 0.0   |
| サンプル数             | 27 | 100.0 |



## Q6. 気がついたこと、気になったことがあれば、なんでもかいてください

| 意見                                           | 学年    |
|----------------------------------------------|-------|
| 改ぜん点がいろいろあることに気付いた                           | 小学6年生 |
| 自分たちの担任の先生など身近な人ともっと話し合いたい！とってもたのしかったです！     | 小学6年生 |
| 話し合いをし、ほかの学校の生活も知れました。また、話し合ったことを学校でも伝えたいです。 | 小学5年生 |
| ほかの学校の子とも交流できてたのしかったです。ありがとうございました。          | 小学6年生 |
| 楽しかったです。                                     | 小学5年生 |
| すごく楽しくて他も学校の子たちと話せておもしろかった。                  | 小学5年生 |
| とても楽しかったです。ありがとうございました。                      | 小学6年生 |
| また、こども教育委員会に参加したいです！ありがとうございました！             | 小学6年生 |
| 校長先生や担任の先生方とも参加して話をすすめたい！                    | 小学6年生 |
| みんないけんがちがうし、いろいろ学校それぞれあるのでとてもいいきかいになった。      | 小学5年生 |
| チャレンジウェンズデーってどうやって、つくったんだろう…？                | 小学6年生 |

# ワークショップ開催チラシ

## 表 面

### こどもワークショップ

## 「こども教育委員会」

参加者募集中

～よりよい学校生活を送るために、自分の考えを伝えよう～

今の自分の学校はこんなところがある。もっとこうなるとさらによくなる。  
こんなときに、こんなことができる。  
よりよい学校生活を送るために、みんなの考えを教えてください。  
みんなから教えてもらった考えは、区の取組に役立てていきます。

**日にち・場所**

第1回 6月28日(土) 9:30～11:30 (受付 9:15～)  
江東区文化センター(東陽)

第2回 7月5日(土) 9:30～11:30 (受付 9:15～)  
豊洲文化センター

**応募しめきり** 5月16日(金) 17時 必着

詳細はこちら

**対象** 江東区在住・在学の①小学4～6年生 ②中学生

**内容** みんなの学校をよくするため、グループで話し合おう!  
(お菓子や飲み物もあるよ。)

**話し合いのテーマ**

**楽しい学習** 楽しく学習するために

自分たちが楽しく学習するためには、  
どんな授業がいいですか?

**仲よく生活** 友達と仲よく  
学校生活を送るために

いろいろな個性や考えの友達と  
仲よく協力して生活するために、  
どんなことが必要ですか?

**よりよい環境** 学校がよりよい  
環境になるために

教室や校庭、体育館など自分たちが  
学習しやすく過ごしやすいように、  
どんなことが必要ですか?

**よりよい先生** 先生にお願いしたいこと

どのような先生が理想ですか?  
先生に期待することは  
どんなことですか?

**お問い合わせ先** 江東区教育委員会事務局庶務課教育政策調整係  
〒135-8383 東京都江東区東陽4-11-28 電話:03-3647-8542

## 裏 面

### 注意事項

- 各回定員は30名とさせていただきます。応募人数が多い場合は抽選とさせていただきます。
- 決定のお知らせは、後日メールまたは手紙(郵送)でお送りします。
- ワークショップの様子を撮影した写真等をインターネットや報告書等で公開する場合があります。
- 会場までの交通費はご自身でご負担ください。なお、参加記念品として、図書カード500円分を贈呈します。
- 注意事項を確認・同意のうえ、保護者の方のご署名をお願いします。
- 付き添いの保護者の方の参加はご遠慮いただいております。

### 申込方法

①区ホームページから申込 **※必ず実施**  
QR右にある二次元コード(QR)から区ホームページにアクセスし、  
申込フォームに必要事項を入力してお申し込みください!  
所要時間は1～2分です。

②郵送・FAX  
下にある参加申込書に必要なことを書いて、あて先にある区役所へ送ってください。  
●あて先 〒135-8383 東京都江東区東陽4-11-28 教育委員会事務局庶務課教育政策調整係  
●FAX番号 03-5690-6911

③メール  
下の参加申込書にある内容を区役所のアドレスにメールしてください。  
●メールアドレス 580106@city.koto.lg.jp

**申込期限** 5月16日(金) 17時 必着

| 参加申込書                                                  |                                                                       |
|--------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------|
| 希望日<br><small>(参加を希望する日に<br/>○をつけてください)</small>        | 第1回目: 6/28 9:30～11:30 (東陽)      第2回目: 7/5 9:30～11:30 (豊洲)             |
| 名前<br><small>(必ず記入)</small>                            | 保護者署名                                                                 |
| 学年<br><small>(参加する学年に<br/>○をつけてください)</small>           | 小学 4・5・6 年 (      小学校) 中学 1・2・3 年 (      中学校)<br>義務教育学校 4・5・6・7・8・9 年 |
| 住所                                                     |                                                                       |
| メールアドレス                                                | @                                                                     |
| 電話番号(保護者)                                              | (      )                                                              |
| 配慮項目<br><small>(アレルギーや他の手配が必要ないことがあれば教えてください。)</small> |                                                                       |

# 江東教育七夕まつり

～「将来の夢」を伝える七夕ドリームツリーを作ろう～







# 1. 実施概要

## (1) 目的

「（仮称）教育推進プラン・江東（第3期）」の策定にあたり、多様な子どもから広く意見を聴取し、計画策定の参考資料とする。

## (2) 実施時期

七夕に合わせて、学校・教室の任意の時期に実施

## (3) 実施場所

区立小学校特別支援学級設置校 13校

区立中学校特別支援学級設置校 8校

ブリッジスクール 3教室

## (4) 対象

区立小・中学校特別支援学級およびブリッジスクールに通う児童・生徒

## (5) 実施方法

- ① 笹を描いた模造紙と、短冊用の付箋を用意する。
- ② こどもたちに、テーマに沿った意見・想いを付箋に自由に書いてもらい、模造紙に貼り付けてもらう。
- ③ 特別支援学級では、活動の一環として七夕飾りを作成する。  
ブリッジスクールでは、模造紙をロビー等に掲示し、付箋を備え付けて、来室者に自由に飾り付けしてもらう。

## (6) テーマ

- ・ 将来に関する夢      ・ これからやってみたいこと      ・ 未来の学校
- ・ その他、こどもたちの未来に対する希望



## 2. 意見のまとめ

## (1) 特別支援学級（小学校）

- 将来の夢として、将来になりたい職業などの夢についての記載が多く見られました。
- 絵がうまくなりたい、速く走れるようになりたいなど、自分の興味のある分野での能力の向上について、記載が多く見られました。
- これからやってみたいことで、博物館に行く、実験をしてみたいなど体験を希望する意見が見られました。
- 学力の向上や新しい取組への挑戦について、記載が見られました。
- 学校生活で、友達と仲よくしたい、みんなと一緒に活動したいなど、共調や人を思いやる記載が見られました。
- ロッカーのことや学校を広くしてほしいなど、校舎の環境について記載がありました。

## (2) 特別支援学級（中学校）

- 将来の夢として、将来になりたい職業などの夢についての記載が多く見られました。
- 高校受験に合格したいなど、進学について多くの記載が見られました。
- 部活動やクラスでの活動の成功について、具体的な記載が見られました。
- 学力の向上のほか、各種検定の合格について、記載が見られました。
- 世界平和や家族や自身の健康についての願いが見られました。
- 学校を涼しくしてほしい、エスカレーターを設置してほしいなど、校舎の環境について記載がありました。



### (3) ブリッジスクール



- 将来の夢として、将来なりたい職業などの夢についての記載が多く見られました。
- 学力や能力の向上について、記載が見られました。
- 中学生からは、高校受験に合格したいなど、進学について多くの記載が見られました。
- ブリッジスクールで、色々な活動をしたいとの意見が見られました。
- アルバイトをしたい、夏休みにイベントに出かけたいなど、積極的に活動を希望する記載が見られました。

#### ◇ まとめ

- 発達の段階に応じて、個の状況に合わせた学習を支援する必要があります。
- こどもの興味・関心や個性を生かした学習を充実させる必要があります。
- クラスの仲間と一緒に体験する活動を求める声が多く、こどものニーズを把握しながら体験活動などを充実させる必要があります。
- 中学生では、高校受験への合格など進学を希望する声が多く、学びを保障する環境を確保する必要があります。
- 校舎の環境について、ユニバーサルデザインに基づく改修等を進めていく必要があります。



### 3. 各学校・教室の作品

## (1) 平久小学校



- どんな漢字でも書けるようになりたい
- 宇宙飛行士になれますように
- 野菜を食べれるようになりたい
- プールで泳げるようになりたい
- 学校の先生になりたい
- つよくなりたい
- たくさんおともだちをつくりたい
- ユーチューバーになりたい
- 扇風機をつくりたい など

## (2) 東陽小学校



- すべて授業がパソコン
- ロッカーがすべてクローゼットがいい
- 映画つくりたい
- 公園にいきたい
- 勉強がんばる
- 電車に乗って未来に行ってみたい
- 動物園のパンダの飼育員
- スポーツ選手（になりたい） など

## (3) 東川小学校



- 実験をしたい
- やさしいおとなになりたい
- アメリカに行くとともだちをつくりたい
- 種子島宇宙センターで仕事したい
- お寿司屋さんになりたい
- 犬のトリマーになりたいです
- 通常学級にいけるようになりたい
- 宇宙ステーションで働きたいです など

#### (4) 豊洲小学校



- 友達と遊べますように
- 健康に過ごせますように
- 給食のこさず食べたい
- プールで泳げますように
- 学校で動物を飼いたい
- イラストタブレットでイラストを描きたい
- きっずクラブの先生になれますように
- 仲よし学級の先生になりたいです など

#### (5) 有明小学校



- 新種のカエルを自分の目で見てみたい
- ダンスがうまくなりたい
- もっと絵が上手になりますように
- 水泳も海泳ぐのが上手になりたいです
- みんながしあわせになりますように
- 友達と仲よくしたいな
- 家族や友達にやさしくいい人になりたい
- 保育園の先生になりたいな など

#### (6) 枝川小学校



- 漢字（算数）をがんばりたいです
- プールに入りたいです
- サッカーうまくなりたいです
- ドリルをがんばりたいです
- かけっこが速くなりますように
- 学校の保健室の先生になることです
- 将来の夢はプロダンサーになれますように
- 友達と日光でごはんが食べられますように
- 給食の準備を速くなりたいです など



## (7) 香取小学校



- いっぱい学校が広がりますように
- 恐竜博物館にいきたい
- 教科書を作る工場の人になりたいです
- 工事現場で建物をつくりたい
- 世界一強いこどもになれるように
- 警察官になりたいです
- カメラマンになりたいです
- 新幹線の運転手になれるように など

## (8) 第二大島小学校



- ちゃんと校則を守る学校になりますように
- ゲームの世界大会で金のトロフィーをとれますように
- 学芸会の回数がたくさん増えますように
- ピアニストになれるように
- みんなが無事卒業できますように
- みんなが楽しくすごせますように など

## (9) 第五大島小学校



- いつもリクエスト給食のあるがっこう
- きらきらとみんな元気で暮らせますように
- オリンピックに出ることです
- 陸上選手になれるように
- トランペットを練習してパレードが成功しますように
- 俊足になりたい
- 看護師さんになれるように など



## (10) 第五砂町小学校



- 笑顔ですごせますように
- パンダのお世話係
- イルカの飼育員になりたいです
- 保育園の先生になりたいです
- ディズニーランドではたらかいたい
- 食べ物屋さんになりたいです など

## (11) 小名木川小学校



- 大きくなれますように
- 足が速くなれますように
- みんながハッピーになれますように
- ユーチューバーになりたい
- 先生になれますように
- アイドルになれますように
- 白バイにのりたい
- 消防士になりたい など

## (12) 東砂小学校



- 難しい工作にチャレンジしたい
- 警察官になりたいです
- 歯医者になりたい
- 車の運転をすることです
- お仕事をがんばりたい
- ケーキ屋さんになりたいな
- 電車の運転手になる
- 学校の先生になりたい など

### (13) 南砂小学校



- ペーパークラフトをいっぱいやりたい
- 折り紙が上手になりたい
- 絵がうまくなりますように
- ネコが飼えますように
- 世界中の人がしあわせになりますように
- トマトいっぱい食べたい など

### (14) 深川第一中学校



- 絵描きさんになれるように。難しい絵も描けますように
- 家族が元気にすごせますように など

### (15) 深川第四中学校



- 都大会出場できますように
- クラスの皆でたくさんあそべますように
- クラスのみんなが仲良くなりますように
- 希望している高校に受かりますように
- 漢検合格できますように
- 移動教室安全に全力で楽しめるように
- 合唱コンクール優勝できるように
- もっといろんな所に行きたいのと思い出をたくさん作りたい など

## (16) 深川第八中学校



- 健康でいられますように
- やりたいことができますように
- 健康になれるように
- 普通の平和な生活が送れますように
- 放課後デイサービスの先生になれるように
- 将来イラストレーターになれるように
- 新幹線に乗っていろんな所に行けますように
- プログーマーになれるように など

## (17) 有明中学校



- 友だちがたくさんできる学校
- 文化をずっと守っていく学校
- エスカレーターがある学校
- 音楽の授業で色々な楽器を使ってみたい
- 今大切にしている基礎的な校則はそのままにして仲間と専門的な知識を共有できる学校
- 年齢に関係なく学習しなおせる学校にしてほしい など

## (18) 亀戸中学校



- 学校が涼しくなりますように
- 未来の学校はやさしい学校です
- 無駄な争いが無い学校
- 漢字をたくさん覚えられますように
- 江東区特別支援学校に合格できますように
- 6組カフェをオープンすることができますように など



## (19) 砂町中学校



- 校歌がピアノでひけますように
- 漢検にうかりますように
- みんなが健康に過ごせますように
- 受験に合格出来ますように
- 部活がうまくなれますように
- 絵が上手にできますように
- おだやかな毎日がすごせますように
- 世界がいい方向に変わりますように など

## (20) 第四砂町中学校



- 毎日遊びを学校でできますように
- 志望校に合格できますように
- 毎日学校で歌、ダンスできますように
- 学校で毎日カフトできますように
- E組が全員健康で登校ができますように
- みんなと仲良くできますように
- 指揮者のオーディションに受かりますように
- たくさん旅行に行けますように など

## (21) 南砂中学校



- 友だちが増えますように
- もっと泳げるようになりますように
- 運動神経がよくなりますように
- いつか自分のマンガが入賞しますように
- 絵が上手に描けますように
- 東京メトロの車掌になれますように
- SDGsの17個の課題を達成できますように
- 世界が平和で幸せになりますように など

## (22) BS教育センター教室



- 生き物と仲よくなれるように
- 夏休みを充実して過ごせますように
- 受験に受かりますように
- 常識をつきやぶる
- プロ野球選手になれますように
- バイトしたい
- 絵がうまくなりますように
- 毎日ハッピーに過ごせますよう など

## (23) BS南砂教室



### 【小学生】

- ブリッジのみんなが元気で楽しくすごせますように
- イラストレーターとYouTuberになりたい
- 家族でたくさんお出かけをして楽しい思い出をいっぱい作りたいです

### 【中学生】

- 行きたい高校に受かりますように
- テストでいい点とれますように
- 数学のテストで平均点がとれますように
- 朝に早く起きられるようになりますように
- 英語言えるようになる（スラスラ）
- コミュカを上げる

など

## (24) BS東大島教室



- BBQをブリッジでやりたい
- ブリッジにバレーボールをおいてほしいです
- おもしろい大人になれますように
- 高校受験合格しますように
- 野球をみんなで見たい
- (BSの) トマトが元気に育ちますように
- 夏のすてきな思い出がたくさんできますように
- 一生懸命頑張って生きる など





# 江東区こども議会





# 1. 実施概要

## (1) 目的

「（仮称）教育推進プラン・江東（第3期）」の策定にあたり、主体となるこどもが計画の策定過程に参画するための手法として、「こども議会」の形式による意見交換の機会を設け、その結果を計画策定の参考資料とする。

## (2) 実施日時

令和7年7月16日（水）14時開始

## (3) 実施場所

江東区議会本会議場

## (4) 出席者

こども議員：区立中学校各校代表

理 事 者：江東区長、教育長、教育委員会事務局次長、庶務課長、学校施設課長、学務課長、指導室長、教育支援課長、地域教育課長、江東図書館長、深川図書館長、統括指導主事

## (5) 実施方法

- ① 生徒が「こども議員」となり、教育施策について議題とする「こども議会」を開会する。
- ② 各校代表者を6グループに分け、1グループあたり15分程度で発表。
- ② 各グループで選んだテーマの「現状の問題点」、「こうしてほしいという意見・提案」等について発表する。
- ③ 区理事者は、発表内容についてグループごとに生徒と意見交換を行う。
- ④ 議長、副議長を生徒の中から選出し、司会進行も生徒が主体的に行う。

## (6) 進行スケジュール

14:00 開会

14:02 開会の挨拶（江東区長）

14:05 発表・意見交換（6グループ×15分）

15:35 閉会の挨拶（教育長）

15:50 閉会

## 2. 各グループの提案



## 第1グループ：これからの時代に必要な学習

《 大島西中学校、第三亀戸中学校、第三砂町中学校、深川第八中学校 》

### 現状と課題

A I を使う機会が多くなるため、うまく活用する必要がある。

#### ○ A I のメリット

- ・ 効率が上がることで時短になる。
- ・ わからないことがあってもすぐ調べられる。
- ・ 高度な技術を活用することで様々な分野で活躍できる。



#### ● A I の課題

① どういった場面でA I を使うことが適切なのかを知らない人が多い。

A I に頼りきると… 考える力が低下し、覚えようとする機会が減る

⇒ ・ 知識が貧しくなる恐れ。 ・ 創造力が低下する危険性。

② A I が全て正しいと思い込んでいる人が多い。

- ・ 生成A I は、必ずしも正しいことを言っているとは限らない。
- ・ 出てきた情報が、正しい情報なのかどうかを判断する力を持ち合わせていない生徒が多数いる。

### 意見・提案

- 現状、日常に取り入れることの難しいプログラミング教育の中に生成A I を取り入れてほしい。
- I C T の勉強（A I の正しい使い方を知る）。
- 総合の時間を設けたくさんの情報の中から正しい情報を見つけるためのシュミュレーションをしたりや動画を作って視聴する経験が必要。
- プログラミングでのA I の作成や物事の整理、アドバイスなどにA I を活用する。

### まとめ

#### これからの時代に求める教育

- ① 生成A I の使い方に関する授業を行う。
- ② 情報の真偽を判断する力を身につけさせる。

A I を使いこなす力を  
育てる教育環境の構築

- ① 探究学習や総合学習でA I に関する授業
- ② 情報の真偽を判断する練習
- ③ クロームブックのA I 制限を段階的に見直し
- ④ 学校図書館に、生成A I に関する書籍の充実

## 区との意見交換（指導室長）

- 授業でこれからA Iを使っていほしいということで、Chromebookで今年から先生はGeminiという生成A Iが使えるようになった。この段階がきっかけとして、先生がこれから授業の中で色々試していく。
- よい取組を教育委員会でも把握して、これから共通理解をしながら、生徒の皆さんも使えるように段階を追ってやっていきたい。
- 情報の真偽をしっかりと学べるようにしてほしいということについて、情報モラルや安全に学べるような環境を作っていきたい。
- 生成A Iに関する書籍の購入や、ChromebookのA I制限については順次検討していく。
- 真偽を確かめるときは生徒同士で関わりを持って確認することが大事ということで、決して画面上だけでなく、学校での人との関わり合いを大事に思うというところが素晴らしい。

## 教育長講評

- A Iについて、よく調べられていて、また、よく理解していると思った。
- 既に皆さんがA Iを十分に活用していることもわかった。
- 学校でもA Iの活用が少しずつ進んでいるという話が指導室長からあったが、しっかりとこれからも進めていきたい。
- 「何が真実かをしっかり見極める力をつけたい」ということはとても大事なことで、学校の先生と協力をして、生徒の皆さんの情報活用能力をしっかりと高めていきたい。



## 第2グループ：色々な個性をもつ人とのふれあい

《 有明西学園、第二砂町中学校、深川第二中学校、東陽中学校 》

### 現状と課題

外国人や障がい者に配慮がなされていない。

なぜか？

- ・ 自主性がなく孤立がうまれている。
- ・ TGG(異文化交流の機会)への参加が学年によって異なる。
- ・ いろいろな性別・国籍の人、障がいを持っている人どう接していいかわからない。

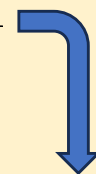
⇒ 先入観や固定概念から起きているのでは。

先入観、固定概念をなくすために、事前に他の国の文化や障害を持つ人たちのことについて知る必要がある

### 意見・提案

- ① 「障がいを超えた体験を」  
ダイアログ・イン・ザ・ダーク(視覚障害者疑似体験施設)
- ② 「国境を超えた体験を」
  - ・ British Hills(語学や異文化学習のための研修施設)
  - ・ JICA地球広場(開発途上国の現状や国際協力について学ぶ)
- ③ 「TOKYO GLOBAL GATEWAY」  
全学年に学びの機会を平等に設けられるように

まとめると



- 理解を深めるために、交流会や講演会、レクリエーションの機会を設ける。
- 海外の遊び、体験談等を含む疑似体験。〈理解・仲を深める目的〉
- 他国の文化に触れる体験の機会を平等にする。〈学年等しく〉

### まとめ

「配慮」と「特別扱い」は違う！

- 偏見や独断などの、一方的な思考。
- 先入観や固定概念に囚われている。  
→ 互いの距離を遠ざける **根本の原因** となっている。



- ① 事前に学習し、理解を深める。(先入観や偏見を持たない)
- ② 疑似体験などを通して異文化や障がいについて知る。
- ③ 他国の文化と交流する機会を作り、その「人」について知る機会を設ける。

⇒ 計画をたてる、実現へとつなげる = **多様性を認め合う**

## 区との意見交換（指導室長）

- 海外から来た方や障害を持つ方と一緒に生活することは、皆さんの学校でもあると思う。教育委員会としても、先生の研修でそのような内容を充実したり、皆さんの総合的な学習の中などで扱うようにして、良い取組を共有していきたい。
- 国境を越えた体験について、区ではカナダ短期留学ができる。今カナダに行っている生徒が帰ってきたら、その体験をぜひ共有してほしい。
- TGGについて、今年から中学校2年生が全員行けるようになった。日頃の授業の中で、海外の先生が授業をしてくれているが、そのようなことを含め、実際に海外の方と交流できる機会を検討していきたい。
- 「英語スピーキングテスト」の区の結果は、東京都の平均よりも上回っている。ぜひ、自信を持って、これからも頑張っていて英語学習に取り組んでいただきたいと思うとともに、教育委員会としてもしっかりと支えていきたい。

## 教育長講評

- 既に、皆さんの学校には外国にルーツがある友達や、障害がある友達など、様々な友達がいると思うが、差別することなく、偏見を持つことなく、仲良く過ごしていると思っている。
- 区では、オリンピック・パラリンピックに向けてパラリンピック教育を進めてきたが、障害のある方々とのふれあいや、ボッチャ・車いすバスケットボールなど、様々なことを体験してきたと思う。
- そのような中で、皆さんがもっと知りたい部分があったと思うし、もっと自然に交流しなければいけないという意見もあったと思う。ぜひ、そのようなところも進めていきたい。





## 第3グループ：学校以外でも学習するために

《 深川第五中学校・砂町中学校・第四砂町中学校・南砂中学校 》

### 現状と課題

「学校に行けないこと」は、珍しいことではない！

⇒ しかし、「学校に行けない＝学べない」ということは、あってはならない。

自分のペースで学び続けられる社会の実現を目指す!!

#### ◆ 現状の課題

##### 1. 学力差の拡大

- ・授業やテストに参加できず、学力差が広がる。
- ・追いつくための支援が不足。

##### 3. 人間関係の希薄化

- ・人との関わりが減り、自信を失う。
- ・「話せる人」がおらず、孤立感が深まる。

##### 2. オンライン授業の不足

- ・オンライン授業の仕組みが整っていない。
- ・自宅学習の環境整備が不十分。



### 意見・提案

#### 1. 学校外でできること

- ① 不登校生同士の交流会：公民館などで気軽に話し合える場を作る。
- ② カウンセラーの増員と巡回支援：地域や家庭でも相談できる体制を整える。
- ③ デジタル教材やアプリの提供：個別学習ができるものを無料で使用
- ④ 地域イベントでの社会参加支援：交流の場を増やす、子どもを育てる環境が大切。

#### 2. 学校内でできること

- ① オンラインでの授業参加を常に設置：登校できない日もワンクリックで授業参加。
- ② 定期テストの代わりとなる個別評価：  
別日での実施や、ICTを活用した確認テストで、学力評価。
- ③ Classroomに板書を共有する：  
登校できない日の授業内容を写真などで残せば、安心して追いつける。
- ④ 学年を超えた小さな交流：他学年との関わりを大切に、交流できる環境を作る。

### まとめ

どこにいても、だれでも、自分のペースで学べる環境をつくってほしい

◆ 勉強すること＝未来をつくること

◆ どこで学ぶかではなく、学びたい気持ちをどう守るか

すべての子どもが、自分の可能性を信じて学び続けられる社会を目指して

- すべての子どもが自分らしく学び、成長できる社会を創りたい。
- 学校という場所にとらわれず、多様な学びの形を認め、支援する環境づくりが必要。

## 区との意見交換（指導室長）

- 大変心に響く内容であったし、目指すところは私たちも一緒だと感じた。
- 今の内容のほとんどは、教育委員会と学校で一緒に取り組んでいるが、もしかしたら、取組が足りていなくて、皆さんには届きにくかったかもしれない。
- 教室には入れなくても、校内の違う部屋だったら行けるこどもに対して部屋を用意している。
- 中学校は不登校の担当巡回教員が今年から4名配置して、色々な地域を回って対応している。
- V L P（バーチャル・ラーニング・プラットフォーム）では、皆さんがアバターになって、オンラインのブースで学習や交流ができる。
- 学年を超えた交流ができる場所としては、ブリッジスクールが区内に3つある。
- 提案をより充実していくことは大事だと思うので、「K O T O こどもかがやきプラン」のとおり、さらに充実させていきたい。

## 教育長講評

- 先ほど指導室長から話があったが、今、多様な学びの場を、学校や学校以外のところに作る取組をしている。例えば、学校の中にワンクッションおける場所として、「ふれあいルーム」や「サポートルーム」といった名前の別室の教室があるし、学校には行きにくいなという人のためのブリッジスクールがある。
- オンライン学習は、全ての学校でできることになっているので、もしやってもらえないということがあったら、先生に話してみしてほしい。全ての授業で、全ての学校でオンライン学習できることになっているので、やってほしいと思ったら伝えてほしい。私たちも、もっとしっかり進むようにやっていきたい。





## 第4グループ：相談しやすい環境

《 大島中学校・亀戸中学校・第二亀戸中学校・深川第四中学校 》

### 現状と課題

学校で悩みを相談したいときに、どのような方法があると相談しやすいか？

- スクールカウンセラーを正しく利用できているのか。
- それ以前に、スクールカウンセラーの存在を知っているのか。

#### 現状の問題点

- 相談が口頭でしかできず、話すことが苦手な人が利用しにくい。
- 相談場所が限られていて相談したい時に相談ができない。

⇒学校によって相談しやすい環境にするための手段が整っているかの差が大きい。

### 意見・提案

- 相談できる手段を増やして欲しい。
- 各学校が行っている相談環境を整える取組を区で共有してほしい。



#### 具体策

- 交換日記や目安箱（意見箱）など、口頭以外の相談も可能に。
- スクールカウンセラーの存在を区の生徒皆に伝えるようにする。
- 朝学活でできるような相談アンケートの定期的な実施。
- 生徒同士で目立たず相談できるような、個室に近い環境を作ってもらおう。
- 区のページなどに相談環境についての各学校の取り組みを載せてもらう。

### まとめ

学校によっての相談環境の差が大きく、相談方法が充実していない状態

- スクールカウンセラーは予約が必要である。
- 一対一の会話が苦手で相談しにくい。 など

相談できる手段を増やし、区全体で共有できるようにする！

## 区との意見交換（教育支援課長）

- 学校で「Action24」と書かれたポスターは、学校の先生や周りの大人が、皆さんがSOSのサインを出していたら、その日のうちに話を聞くなど悩みを受け止めてあげてほしいというお願いのメッセージ。
- それぞれの学校で様々な工夫を他の学校へ伝えていくということは素晴らしい視点なので、今日話をぜひ自分の学校に持ち帰ってほしい。
- 例えばスクールカウンセラーの活用を促すポスター作りなど、皆さんが自分たちで実行できることにも挑戦してほしい。先生からも応援してもらえるよう、教育委員会からも願います。
- 「江東区なんでもチャット相談」というオンライン相談を行なっているが、多くの人に使ってもらうために、学校訪問時に聴いた開設時間以外でも書き込めるようにしたいという意見を採用して、いつでも書き込めるようにした。
- 今日の提案を参考に、今後も、全ての学校、全ての子どもたちが相談しやすい環境をつくっていく。

## 教育長講評

- 直接話をするのが苦手な人のためにチャット相談できる環境もあるが、もっとスクールカウンセラーのことを知ってもらわなければいけない。
- 様々なことをもっと充実させて、皆さんに寄り添って相談ができるようにしなければいけない。
- 相談しやすい環境に皆さんの近くには先生がいるが、先生に相談がしやすいということが一番いい環境。近くにいる先生に遠慮なく相談ができる、そんな環境を作っていくことも必要。
- 「KOTOこどもかがやきプラン」に、学校の中でみんなが過ごしやすい環境を作っていくようにしましうと書いているので、おかしいと感じたら、どんどん先生に言ってほしい。改善していきたい。



## 第5グループ：これからの学校に必要なもの

《 深川第三中学校、深川第七中学校、深川第一中学校、有明中学校 》

### 現状と課題

どのような校舎になると生活や学習がしやすくなるか。

- (1) 学習する上で教室環境に課題がある
  - ① 冷暖房の効きが教室により違う。
  - ② 大型テレビやインターネット接続ができないことがある。
  - ③ 大型テレビが反射や光で見にくい。
  - ④ 教室に人が多く狭い。 ⇒ 1クラス40人は多過ぎ。30～35人に。
- (2) 生活する上で学校設備に課題がある
  - ① 校舎内の移動が大変、けが人の移動が難しい。
  - ② 水分補給が十分にできない。
    - ・水筒が空になる。 ・給水器を衛生的に飲めない。
  - ③ 地球温暖化の影響があまり考慮されていない。
- (3) より良い環境設備が望ましい
  - ① 静かに集中して学習するスペースが、人によってはない。
  - ② 時代に追いついていない校舎設計。
  - ③ 夜遅くまで部活動など校庭での活動ができない。



### 意見・提案

- (1) 学習する上で教室環境に課題があるについて
  - ① 冷暖房の性能を確実にし、教室ごとの偏りを解消。
  - ② 電波（ネットワーク回線）がどこでも接続できるよう強いものに。
  - ③ 光を遮断する設備、取り外し可能なスクリーンの設置。
- (2) 生活する上で学校設備に課題があるについて
  - ① エレベータやエスカレータの設置、スロープ設置による校舎内の段差の軽減。
  - ② 給水器の増設。
  - ③ 温度管理のできる更衣室、プールに日よけの設置、ミストシャワーの設置。
- (3) より良い環境設備が望ましいについて
  - ① 空き教室を自習室のような環境にしてほしい。
  - ② トイレにウォッシュレット、第二体育館の設置など校庭・体育館設備の充実。
  - ③ 夜間用照明の設置。

### まとめ

他のグループの学校にも、今の学校生活で校舎に関して困っていることや改善して欲しいと感じていることはあると思う。

より良い校舎環境が、学習意欲の向上や豊かな学校生活つながる。

## 区との意見交換（学校施設課長）

- 時代に追いついてない校舎の設計で、古い学校は50年以上経っているが、昔にはバリアフリーやユニバーサルデザイン、省エネ性能という考え方がなかった。今に合わせて改修することは難しいが、工夫して設計、改修を進めていく。
- 新しい学校は、今のバリアフリー等に対しても十分に満足した形の設計で対応できている。
- 学校は学びの場としてとても重要だが、いざという時に地域の方が避難所として避難してくる施設ということを覚えておいてほしい。みんなが使う建物ということも考えて、整備等に取り組んでいる。
- 3月に「学校施設の将来ビジョン」をつくったが、これからの教室や学校をどのように作っていくかについて書かれているので、ぜひご覧になってほしい。

## 教育長講評

- エレベーターのない学校がまだあるが、他の区より熱心に学校を改修している。
- 木を使うことを大切にしており、新しくなった学校は木をたくさん使うようにしている。
- 今、区では、皆さんが学びやすい教室や学びやすい学校を作っていこうと、色々な話し合いをして改善策を作っている。
- 大型モニターが見つらいという話があったが、大型モニターを増やして自分の見やすいところで見ることができたり、自由に動かすことで角度を変えられたり、他にも黒板をホワイトボードに変えるなど、様々なことを話している。
- 回線がつながりにくいという話があったが、GIGAスクール構想の次のステップに入っていくので、もっと回線の良いものに替えていく取組をしている。
- 皆さんが今使っているChromebookも新しいものに変えるため、今準備を進めているので、令和8年度から新たらしくなることも覚えておいてほしい。





## 第6グループ：地域の方々と協力して、何ができると思いますか

《 深川第六中学校、辰巳中学校、第二大島中学校、第二南砂中学校 》

### 現状と課題

地域と関わる、交流する機会が少ない。

#### ◆ 主な理由

- ・ コロナ前の活動を再開できていない。⇒ コロナ禍でノウハウが失われた。
- ・ 教員や地域の負担が大きい。  
⇒ 教員は毎日多くの業務を抱えており、地域の行事に参加できない。
- ・ 生徒間で機会に差がある。⇒ 全校で動く機会が少ない。
- ・ 自主的でない。  
⇒ 地域から声がかかってから活動する。何をやっていいかわからない。

地域に関わりたいと思っている生徒は多数いる。

### 意見・提案

- ① 地域プロジェクトの立ち上げ  
(地域のいいところを紹介するポスターや動画をつくって、学校外にも発信。)
- ② 地元の小学生と関わる機会を増やす(出前授業など)
- ③ 防災についての体験・学習の場を増やす
- ④ 地域の郷土料理と給食をコラボ(地域の食事、まちの特産物)
- ⑤ 夏休みに日本の文化体験の参加希望
- ⑥ トヨタアリーナ東京の見学参加希望



### まとめ

#### ★ 区への要望

地域との交流ができている学校とできていない学校に差がある。

- 先生と地域の人負担を減らす。
- 地域との交流の場を作してほしい。  
⇒ **区が主体としたイベントを開催してほしい。**

地域の捉え方が違うと、区から同じ対応ができない。

- 学校と地域が関わりやすくなるシステムの導入するなど、**各々の学校の考えに合わせた取組**を考えてほしい。



## 区との意見交換（地域教育課長）

- 地域学校協働本部は、PTAや青少年委員、町会、企業など地域の人たちが学校と協力して、皆さんの学びや活動を支える仕組みとなっていて、全ての小・中学校、義務教育学校に既に設置されている。
- 活動に必要なボランティアがいらない、認知度が低いなどの様々な課題があり、区としては、様々な方が負担がなく参加できるように努めていく必要がある。
- 地域学校協働活動には、皆さん自身やご家族にもぜひ関わり合いを持ってほしい。習い事や部活動、様々な事情があると思うが、「これならできるかも」、「この日なら都合がいい」という活動があれば、ぜひ参加してほしい。皆さんが少しずつでも関わり合いを持つことで、学校にも地域にも活気が溢れてくる。
- 皆さんから地域学校協働本部と一緒にこんな活動をやってみたいということがあれば、ぜひ各校の地域学校協働本部のコーディネーターに相談してほしい。地域の方が教育に携わることは、皆さんの豊かな人間性を育むとともに、地域の活性化や皆さんが安心して暮らせる地域づくりにもつながる。
- 地域の教育力向上や絆づくりに向けて、多くの方々に地域学校協働活動に参加してもらえることを願うとともに、そのために区も努力をしていく。

## 教育長講評

- 地域の方と交流を持ちたいという意見がたくさんあることを、地域の方に伝えていきたい。地域の方も、それをとても喜んでくれると思う。
- 江東区には大きなお祭りや、地域のお祭りがある。他の自治体では、お祭りがない地域もあり、地域とのつながりや、歴史や伝統がある江東区ということを理解してほしい。



